

お知らせ

丸山薫賞のご案内



豊橋市では、主知的抒情に独自の詩境を確立し、日本の現代詩に多大な業績を残した本市ゆかりの詩人丸山薫を顕彰するため、平成六年に丸山薫賞を制定いたしました。没後二十年を期して創設しました当賞も、おかげをもちまして今年で十回目を迎えることになりました。

丸山薫賞により、この地が薫り高い文化発信地にと念願するとともに、日本の詩壇への貢献の一助になればと願い、ここに全国詩人の皆様方をはじめとする関係各位に、第十回丸山薫賞をご案内させていただきます。

対象詩集

平成十四年四月一日から平成十五年三月三十一日までに刊行された現代詩集。ただし、翻訳、復刻、再版、遺稿集及び全詩集、選集、外国語による詩集は除きます。

応募方法

応募詩集一冊と詩集名、住所、氏名（筆名の場合は本名も）、年齢、性別、電話番号を別記し、左記に送付。詩集名、氏名にはふりがなを付すこと。

なお、応募詩集の返却はいたしません。

応募先

〒四四〇・八五〇一 豊橋市今橋町一番地 豊橋市役所文化市民部文化課内 丸山薫賞運営委員会事務局

締切日

平成十五年七月三十一日（木）当日消印有効

発表

平成十五年九月（予定）直接本人に通知します。

賞

正賞及び副賞百万円

受賞詩集

一点

贈呈式

平成十五年十月、豊橋市内で行う。

選考委員

伊藤桂一 杉山平一 新川和江 菊田守 富長寛梁

広報課便り



吉永幸司先生の四十年にわたるご経験をもとにご執筆いただく新連載「わたしの国語教室」のお願いに京都に出かけました。

たまたまその日から始まった「空海と高野山展」（京都国立博物館）を鑑賞。普段なかなか見ることのできない空海二十四歳の書「聾聵指帰」などすばらしいものばかりでした。帰りの新幹線では、「梅原猛の授業 仏教」（朝日新聞社刊）を読みながらじっくり空海の世界に浸り、つくづく喜びを感じました。学生のころいやいや読まされた本はちつともおもしろくなかったのに。倉澤栄吉先生は、そのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

ご好評をいただいております伊藤亜矢子先生の「先生と子どもたちのためのミニ心理学」は、紙面の都合でしばらくお休みさせていただきます。

次号予告

●国語教科書をお使いいただいて一年。新指導要領の実施とも重なり、先生方からはさまざまな声が寄せられています。そこで、次号では、教科書の単元をいくつか取り上げ、少ない時間でねらいを達成するための指導の工夫について考えてみたいと思います。